

# 新型コロナ「第5波」市の感染者は28倍

## なにより、いのち。第6波起こさぬ対策と備えを 日本共産党議員団が市に申し入れ

# 愛西民報

2021年  
10・11月  
第68号

〔発行〕  
日本共産党  
愛西市委員会  
河合克平議員  
真野和久議員  
加藤敏彦議員

09083333481  
09041984516  
09091223969



左から健康推進課長、健康子ども部長、河合市議、まの市議、かとう市議

### 新型コロナウイルスから市民のいのちを守るための対応を求める申し入れ

1. 高齢者施設、保育園学校などの勤務者を対象とした定期的な検査を行うため、市独自でPCR検査、抗原検査体制をとること。
2. いつでもだれでもなんでも希望する人すべてにPCR検査・抗原検査を無料で行い、早期に感染者を保護することにより、感染拡大を防ぐこと。
3. ワクチン接種をすすめるため、市の接種状況をホームページで公表すること。
4. 3月に要望した、自宅療養者に対する買い物支援や食料支援、パルスオキシメーターの貸出などを行うこと。
5. 県へ自宅療養者に関する個人情報の提供を求めること。
6. 自宅療養者からの相談窓口を設置し、不安の解消に努めること。
7. 病児・病後児の保育を病院等で行えるようにすること
8. 市で行えないことは、国・県へ行うよう求めること。

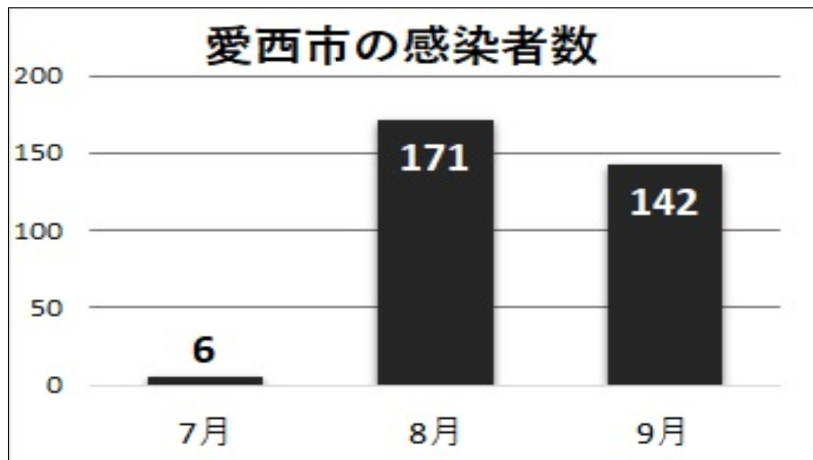
ワクチンだけでなく、  
**定期的な検査で感染拡大しない対策を**

『第5波』では、「感染してから5日間も保健所から連絡なく放置され」、市民が命の危機にさらされました。保健所の機能が崩壊しました。7月の感染者は6人、8月の感染者は171人と28倍に感染者数が拡大しました。市役所関係では合計106

名が感染。この数字は6月議会から2倍になりました。

かとう敏彦議員は、感染拡大を防ぐためワクチン接種と定期的なPCR検査や抗原検査が必要と市のコロナ対策を  
健康子ども部長は、継続的

に検査を受けるとなれば、感染拡大を最小限に食い止めることも可能かと思うとしながら、現段階では積極的に実施する考えはないと答弁。検査を行う考えはないとの立場は、市民のいのちを軽視することになります。



### 市役所や学校、福祉施設で感染者は106人

- 市職員で感染した職員は6名
- 小中学校のうち13校で、教職員6名、児童生徒32名
- 放課後児童クラブでは、5館5名
- 保育園・認定こども園、幼稚園では、18園で40名
- 高齢者施設では、利用者、施設職員で8施設17名
- コロナによって亡くなった人は12名

### 令和2年度決算より①

できました。

#### コロナ禍でも

基金は4000万円増える

基金の合計は、169億円と前年対比4000万円増加。新型コロナウイルス感染が蔓延し、市民のいのち、暮らし、仕事に影響がでているのに、市は、さらに基金をため込みました。

#### コロナ禍でも 借金は5億円減る

借金は181億円で、前年に比べて5億円も減りました。基金が増え借金が減ったことで、市財政にはさらに余裕が

小中学校の老朽化対策やトイレの洋式化、特別教室のエアコン設置など将来の子供たちの教育環境をもっと改善できます。

#### 基金の利子は1億円 市民のために使え

169億円の基金に対する利子は、1億円になりました。この利子を活用すれば、削減された福祉施策を元に戻すことは可能です。



### 学校統廃合優先の老朽化対策はしない

まの和久議員は、小中学校施設老朽化対策検討委員会の状況を確認しました。

市は、「昨年視察した学校を含め、8月までに18校中12校の視察を終えた。今後、残り6校の視察及び提言内容の協議、検討を進め、今年度中に提言をもらう予定だ。施設の必要な機能、トイレ改修、バリアフリー化なども含まれる」と答弁しました。

会では「規模適正化を優先すること、学校施設の老朽化対策を行わないとは考えていない」との答弁に間違いはないことを再度確認しました。



老朽化対策と学校規模適正化の関連については、3月議

### 危険な通学路80力所の対策を

河合かつぺい議員は、千葉県八街（やちまた）市の下校中の児童5人が大型トラックにはねられて死傷したといういたましい事故について、市の子どもの命が守られる通学路になるよう求めました。市がすぐに行った「通学路緊急点検」の結果は、

佐屋地区40力所、立田地区8力所、八開地区11力所、佐織地区21力所、合計80力所の報告がありました。市は、警察など関係部署と協議をおこない、有効な処置を約束しました。



### 市内中小工商业者へコロナ支援金制度の補正予算可決

市内の資本金3億円以下300人以下の中小工商业者（卸売、サービス、小売

は別定義）にたいし、5万円の支援金（飲食店は10万円）を給付。申込期間は、11月から1月まで。詳細は産業振興課0567（55）7128

### 日本共産党議員の一般質問から

#### 開発は住民の立場に立って



まの和久 議員

資材置き場（町方町大山田）の開発について、「市民の不安の声がある。建設中、建設後の住民の声にどう対応するのか」と市の対策を質問。

市は、「道路舗装の破損の心配には、関係者が現場立ち

会いを行い、それを踏まえて対応する。それ以外の様々な質問にも市として状況を注視しつつ、住民から相談があった場合、事業者に対し適切に対応する」と約束しました。

#### 「生理の貧困」解消を



かとう敏彦 議員

「コロナ禍で生理用品を十分に買うことができないことが問題になり、公共施設や小中学校のトイレに生理用品を備える取り組みが広がっている。愛西市でもぜひ検討してほしい」と要求しました。

教育部長は「学校などでの生理用品の配置は考えられない」と冷たい答弁でした。愛西市では、新日本婦人の会が「学校トイレの個室に生理用品の設置を求める要請書」を提出しています。

#### 巡回バスのバス停に屋根を



河合かつぺい 議員

本庁舎のバス停に屋根の設置を求めました。

人事のような答弁をしました。

市長は、日よけがない、雨をしのぐ場所がないと市民に不便をかけていることを認めながら、「巡回バス検討委員会

で話し合っしてほしい」と他周知の徹底を求めました。

### 令和2年度決算より②

歳入・歳出300億円超える過去最大規模

2020年度（令和2年度）

の歳入は、愛西市制になって過去最大の313億円になりました。歳出も301億円になり、繰り越しは12億円でした。

市は、自主財源が少ないからと企業誘致を強調しました。しかし、コロナ対策の104億円を除けば、自主財源比率は、例年と変わりません。見かけだけで財政評価をすることは、おかしいです。

#### 監査報告

##### 「市の財政は健全」

財政の健全性をはかる指針である、実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担率に問題なく、監査報告では「健全な状態であると」認めました。



雨よけ、日よけのない市役所バス停

「議会のインターネット放映を求める請願」など3件の請願すべて不採択に

①議会一般質問のインターネット放映を求める請願  
②常任委員会議事録のホームページ公開をもとめる請願  
③「市民の権利である請願権」を守るための請願

市議会の改革を求める市民からの3件の請願は、日本共産党愛西市議団などが賛成しましたが、反対多数で否決されました。現在、多くの地方議会で行われている基本的な改革を市民が求めたのに対し、反対する保守系議員は許せません。



政治革新の道しるべ、真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗  
日刊●月 3497円  
日曜版●月 930円

愛西市の読者ニュースが毎週折り込まれます。お申し込みは共産党市議まで